



Contents:

本号の内容 :

[AIPPI 国際総会](#)

[ニュース要約](#)

[記事・解説](#)

[各国部会](#)

AIPPI World Congress

2021年 AIPPI オンライン総会 :

開会セレモニー基調講演者の紹介 : Trevor Albery 氏



Trevor Albery 氏は現在、グローバル企業であるワーナーメディアのコンテンツ保護・分析グループの共同責任者で、特に欧州・中東・アフリカ (EMEA) 地域を担当しています。その役割は、ワーナーメディア全体のコンテンツ保護ポリシーの策定、企業・業界レベルでの権利行使業務、データ分析など多岐にわたります。

また、EMEA 地域の知的財産ポリシーの責任者として、ワーナーメディアが、人気の高い映

画、テレビシリーズ、ビデオゲームなどを、世界中の消費者に提供できるようにするための知的財産の枠組みの整備も担当しています。

ブリストル大学で法学位を取得後、ロンドンのキングズ・カレッジで、欧州および英米の著作権・著作隣接権について学び、英国のポストグラデュエート・ディプロマを取得。

開会セレモニーにおける Trevor Albery 氏の基調講演は、10月15日（金）の午後 1:30～2:00（中欧夏時間）に視聴できます。

[オンライン総会プラットフォームの使用方法（その1）](#)

[オンライン総会プラットフォームの使用方法（その2）](#)

総会アプリのダウンロード

総会の最新情報や通知の取得、スケジュールやスポンサー・出展者の確認、アポイントの管理、その他にもさまざまなことが、携帯端末から簡単にできます。

Cvent Events アプリをダウンロードし、**AIPPI** を検索すると、2021年 AIPPI 総会の公式アプリが表示されます。

Sponsor Day のお知らせ：10月12日～14日

プラチナスポンサーが、知的財産のさまざまなテーマに関するユニークなプログラムを用意しています。総会に先立って、同業の人々と交流できる、このすばらしい機会を、スケジュールに入れておいてください。

www.aippicongress.org

テーマの例：

- ・中国での商標登録における落とし穴と解決策
- ・ブロックチェーンが知的財産に及ぼす影響
- ・トルコにおける医薬特許訴訟に関する課題
- ・ブラジルにおける標準必須特許（SEP）に関して注意を要する事柄

これらのセッションは、プログラムの「Pre-Congress」のセクションにあります。



日本部会：英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 46, No.4)

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』2021年最新号 (Vol 46, No.4) が、お読みいただけるようになりました。本部ウェブサイトの「Membership Portal」へサインインし、「Member Offers」からご覧ください。

日本部会では、我が国の知的財産制度に関する情報を海外へ発信するため、英文の隔月誌『A.I.P.P.I.』を1965年より発行してきました。

AIPPI 会員であれば、各号のすべての内容をオンラインで閲覧可能です（ダウンロードや印刷はできません）。世界各国の多くの会員の皆様に興味を持っていただければ幸いです。バックナンバーも、この会員ページでお読みいただけます。

AIPPI JAPAN

阿部正俊



News Round-Up:

ニュース要約：

[AIPPI 総会プラットフォームにアクセスできます](#)

AIPPI 



登録済みの方は、総会プラットフォームにアクセスして、他の参加者と交流することができます。また、今回の AIPPI 総会の会場となる、このプラットフォームに慣れておくために、さまざまな機能を確認することもできます。

[2021 年 AIPPI 青年フォーラム : Resilient Professional](#)

今回の **Resilient Professional** (しなやかなプロフェッショナル) は、若い AIPPI 会員が、職場からの要求や期待と、自身の目標や置かれた状況とのバランスを取ろうとする際に直面する困難に対処するための、オンラインの双方向セミナーです。

[動画 : AIPPI 戦略的目標 - 2021 年~2023 年](#)

AIPPI の 2021 年から 2023 年の戦略目標について紹介する動画です。2021 年に Bureau の承認を得た内容で、Bureau の複数のメンバーが説明しています。合計で 7 つの目標があり、それぞれが具体的な戦略になっています。

完全版は、本部ウェブサイトの戦略に関するページ ([AIPPI STRATEGY 2021-23](#)) で読むことができ、PDF 形式でダウンロードすることもできます。

この動画や戦略的目標に関するご意見は、publications@aippi.org へお寄せください。

[AIPPI に関するニュース報道 - AIPPI 英国部会主催の民事司法の将来に関するイベント他](#)

世界各地で AIPPI の活動がどのように報じられているかを紹介するページです (記事を読むために、登録や購読申込が必要な外部サイトもあります)。

ネットや紙媒体で AIPPI に関するニュースを見つけた場合は、publications@aippi.org までお知らせください。



Articles & Case Notes:

記事・解説 :

英国 : 控訴院による CJEU 判決と第一審裁判所判決の解釈

Tristan Sherliker of Bird & Bird, London. Edited by Edward Cronan, Hogarth Chambers, AIPPI UK NGR

控訴院は **Sky v SkyKick** 事件において、指定範囲が広すぎる商標登録に対しての、悪意法理の適用に関する高等法院の判決を破棄しました。控訴院はその際、付託された **C-371/18** における **CJEU** 判決の解釈と、**Hasbro** 事件 (**T-663/19**) における第一審裁判所判決の重要な側面についての有益な指針を示しました。

そして、高等法院が、悪意を理由に **Sky** 商標の指定の一部を無効としたのは間違いであると結論付けました。この判決は、例えば「コンピュータ・サービス」を対象とする商標の出願は、たとえ 1 つの商品・役務であっても、その範囲内で商標を使用する意図があれば、通常は、悪意による出願とは見なされないことを意味します。



[続きを読む](#)

タイ：ビデオゲームのタイトルの商標登録に関して希望を与える法廷での勝利

Kannicha Wungmuthitakul of Tilleke & Gibbins, Bangkok, Thailand

ビデオゲームのタイトルは、ゲーム開発者が保有する最も価値がある資産の一つであると思われ、ゲームのタイトルを商標として登録することは、そのタイトルに対する独占的権利を確保し、第三者のゲームや関連の商品・役務に使用されるのを防ぎます。

しかしタイでは、ビデオゲームのタイトルを商標登録しようとする出願に関して、タイトルがそのゲームを記述するものかどうか、繰り返し問題となってきました。タイ知的財産局の商標登録官および商標委員会における現行の運用では、ビデオゲームのタイトルは、実際の特徴に関連するかどうかに関係なく、そのゲームを記述するものと見なされます。



[続きを読む](#)

中国：SEP ライセンス料の国際的な料率を決める権限が中国の裁判所にあることを最高人民法院が確認

Xiao JIN of CCPIT Patent and Trademark Law Office, Beijing, PR China

今後、中国でも標準必須特許（SEP）ライセンスに関する国際的な紛争が増えるのでしょうか。最高人民法院は、相手国よりも中国との関連が強い SEP ライセンスについては、ライセンス料の国際的な料率を決める権限が、中国の裁判所にあることを確認しました。



[続きを読む](#)

ポーランド：知的財産法廷の初年度の概況

Klaudia Błach Morysińska, Zaborski, Morysiński Law Firm, Poland and Paweł Poznański, Zaborski, Morysiński Law Firm, Poland



ポーランドでは、知的財産に関する問題の複雑さや、知財訴訟ならではの性格に対応するため、専門知識のある裁判官を備えた知財法廷を設置するよう、実務者の側からは長年にわたる要求があり、また、知財訴訟の件数が増加したことで、他の欧州諸国と同様に、知財の事件を専門に扱う法廷の必要性が高まり、2020年7月1日に知的財産法廷が創設されました。この法廷が設置されているのは、ワルシャワ、グダニスク、ポズナン、カトヴィツェ、ルブリンの5カ所の地方裁判所、およびワルシャワとポズナンにある2カ所の控訴裁判所です。

筆者らは、一周年を機に、これらの専門法廷で扱われた事件についての統計を作成しようということになり、各裁判所の知的財産部に対し、訴訟の総数、訴訟の内容、さらには、証拠保全の申し立て、証拠開示・公表の請求、一年分の情報請求などの新たな手続上の措置を含めたデータの提供を求めました。以下の概況レポートをご覧ください。

[続きを読む](#)

オーストラリア：コロナ禍における知的財産

Artemis Kirkinis of Allens, Australia

新型コロナウイルスの世界的流行により、知的財産権にスポットライトが当たっています。安全で有効なワクチンの迅速な開発は、信じられないほどの偉業ですが、世界中の人々へのワクチン接種が急がれる中、必要な回数分の供給ができていない地域もあります。コロナ禍の早い段階から、知的財産権は、こうした努力を妨げるのか否かという議論がありました。また、強制実施権や政府による授権（オーストラリアや英国では「国による実施」と呼ばれている）のような、めったに使用されない法的手段が、各国で使用されるのかということも問われています。



[続きを読む](#)

エクアドル：知的財産に関する国境措置と刑法の改正

Eduardo Ríos, Associate at CorralRosales, Ecuador

議会が行政府による部分的な反対に譲歩し、「国内産業の強化および電子商取引の推進を目的とした密貿易の防止・取締を強化するための各種法律を改正する法律」が可決されました。この法律は、知的財産に関する制度の改正も対象になっています。

今回は特に、(i) 知的財産に関する犯罪とその罰則、および犯罪になり得る行為の扱いと範囲の拡大、および (ii) 国境措置に伴う手続きに関する規定が改正されます。



[続きを読む](#)

日本：署名・押印の見直し - コロナ禍の影響

窪田法律事務所 加藤ちあき

特許庁は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と、行政手続きにおけるさらなる利便性向上を目的として、各種の証書や書類への署名や押印を一部廃止することを決めました。



[続きを読む](#)

ポーランド：数十年続いた知的財産法に代わる新たな法案

Klaudia Błach Morysińska of Zaborski, Morysiński Law Firm, Poland

ポーランドでは 2021 年に、特許庁、そして経済開発・労働・技術省が、新たな産業財産法案の策定に着手しました。同省は、2000 年 6 月 30 日に施行され、これまでに 20 回以上改正を重ねてきた産業財産法に代わる、最新の法案に関する情報を公開しました。



[続きを読む](#)

矛盾する 2 つの目的をかなえるには

Vladimir Biriulin, President of the AIPPI Russian Group

英国で初めての発明特許は、1449 年にガラスの製法に対して付与され、発明者には、この発明に対する 20 年間の独占が認められました。翌年の 1450 年、ベネチアでは、同じくガラス製造に関する特許が 10 年の期間で付与されました。それ以降、その他の国々でも特許法が採用され、特許が付与されるようになり、特許の期間として 20 年が絶対的な基準とな

りました。

[続きを読む](#)

AIPPI Videos:

新着動画：

[著作権と建築物 - 欧州における最近の判例](#)

建築物は、外側も内側も著作権による保護が可能です。例えば「建築物が著作権保護を受けるための要件は何か」、「建築家は人格権を理由として、建物の改築を止めさせることができるか」というような疑問に関し、欧州各国の裁判所で判断が示されています。今回のセミナーでは、フランス、ドイツ、イタリア、およびトルコの判例を紹介しています。

AIPPI National and Regional News:

各国部会：



[アルゼンチン部会：部会の新たな役員を選任](#)

会長：Graciela Pérez de Insaurraga

副会長：Sergio M. Ellmann

事務局：Pedro C. Breuer Moreno

財務：Gastón Richelet

それぞれの役職での活躍を期待しています。

[AIPPI ベルギー部会：オンライン Study Day - 2021年11月25日：特許・商標・営業秘密に関する注目度の高いテーマと最近の動向](#)

AIPPI ベルギー部会は、毎年恒例の Study Day を 11 月に開催します。AIPPI 本部に支援い

ただき、昨年と同様にオンラインで行います。国内外から講師を迎え、差止と特許、ベルギーにおける特許に関する最近の判例、営業秘密保護の妥当な措置、悪意の商標出願、団体商標、地理的表示と商標などをテーマとした、5つのオンラインセミナーがあります。セミナーの使用言語は英語です。

[続きを読む](#)

スーダン：知的財産権関連の手数料値上げ

Firas Qumsieh, National Group Reporter, AIPPI Jordan

ハルツーム - 法務省は、省令 2021 年 1917 号に基づき、知的財産権に関する手続き全般の公的手数料を値上げすることを発表しました。2021 年 2 月に、財務省が法務省に対して、新たな手数料体系を提案するメモを送り、8 月 5 日に公報 1917 号に掲載された今回の決定は、8 月 8 日まで遡って適用されます。

© All rights reserved.



AIPPI General Secretariat
Tödistrasse 16
8002 Zurich – Switzerland
Tel: +41 44 280 58 80
mail@aippi.org

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。